

北海道白糠町 羊まると研究所



北海道白糠町で羊飼いを営む「羊まると研究所」牧場長・酒井伸吾さんです。

現在、全頭で約 350 頭の羊を飼育しています。牧場では酒井さんの声に羊たちが自然と集まってきます。それは、日々の丁寧な飼育を通じて築かれた羊たちとの確かな信頼関係がそこにはあります。その姿勢とこだわりが多くの人々の心を動かし、酒井さんはNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」や多数のメディアにも出演。酒井さんのもとで育った羊たちのお肉や羊毛は、シェフや職人たちから、高く評価されています。

酒井さんが飼育で大切にしているのは、羊が自然体で安心して過ごせる環境を整えることです。実際に牧場を訪れると空気は清らかで、羊たちは実に落ち着いた様子で、リラックスして生活しています。

酒井さんはアースジェネターについて、

「**効果がはっきり見えるわけではない**」と率直に語ります。

それでも使い続けているのは、**母羊の健康を守ることが羊経営の根幹であり、**
「羊経営の基盤を維持し、牧場を守ってくれる存在」だと考えているからです。

生き物相手の仕事は、いつ何が起きるかわかりません。特に羊は病気になりやすく、トラブルも多い繊細な生き物。だからこそ、羊の健康を安定的に保つことがお肉や羊毛の質に直結し、大切だと酒井さんは話します。

【調子が崩れない＝問題が起きない＝気づかれにくい】そんな**「見えにくい安定」**が羊経営を支える鍵。そして、その安定を裏で支えているのがアースジェネターをはじめ、**目に見えるだけではない小さなケアが大切**とのことです。

「**羊たちが健康でいてくれること。それが結局、お客様に良いお肉や羊毛を届けることにつながる。**」と語ってくれました。